

つづき

津付ダムだより

気仙川の総合的な治水
対策に関する座談会
開催される

二月二十三日(月)から二十
六日(木)にかけて、のべ五回
住田町一箇所と陸前高田市三
箇所の会場にて、標記の座談会
が開催されました。

気仙川流域住民の皆様にご
総合的な治水対策のイメージを
知っていただくこと、また参加
者の皆様より、様々な体験談等
を語っていただき、参加者同士
の情報共有を図ることなどを
目的に、大船渡地方振興局土木
部が開催したものです。

各会場とも、過去の災害の体
験談や、河川の危険と感してい
るところなど、貴重な情報を語
っていただきました。

流域で進めるべき治水対策
の方向性の策定に向けて、参考

にしたいと考えています。



(座談会の様子)

付替道路工事に本格着手

十二月下旬、一般国道397
号の付替道路工事に着手しま
した。写真は2号橋梁の下部工
(橋脚) 工事に伴う仮橋工事が
完成した様子です。今春には橋
脚工本体に着工予定です。



(仮橋工事完成)

質問コーナー

(質問) 総合的な治水対策とは、ど
ういうものでしょうか？

(回答) 今までの治水対策は、行
政が施設の整備を含め、社会資本
整備に重点を置いていました。一
方、地域においては水防団活動な
どが行なわれ、効果を上げていま
した。しかし、社会環境や自然環
境の変化から、これまでの個別に
対応していた方法に限界が見え
てきたため、行政と、流域の住民
やその組織が共通の認識のもと、
関係を強化し、役割を明確化した
新たな枠組みをつくって、流域一
体となって行う減災対策です。
具体的には、これまでの施設整
備や水防団活動などに加え、施設
整備計画作成への住民参加や、よ
り高度な情報提供による地域支
援などが考えられます。

昨年度、大船渡地方振興局と陸
前高田市、住田町の防災関係担当
者等によるワーキンググループ
にて検討し、提言をまとめていま
す。提言の内容については、今後
紹介していきたいと思えます。

住田風土資産絵図（仮称）の紹介

津付ダム周辺地域において、津付ダム建設事業と地域との関わりに有効な資料を作成中です。

その成果の一部として、現在作業中である「住田風土資産絵図」(仮称)の一部を下記に紹介いたします。(監修 特定非営利活動法人 風土工学デザイン研究所)

住田風土資産絵図の一部

今後は、郷土資料を中心とした文献調査や地元有識者等への聞き取り調査、現地確認調査を行い、住田風土資産絵図の作成を進めて行きたいと思っています。

公式ホームページ

津付ダムの公式ホームページは、今までどおり下記のアドレスで、ご覧いただくことができます。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp4580>

春の増水にご注意を。

太陽のひかりも日増しに春めてきました。山に積もっていた雪も徐々に解けていきますが、この融雪による出水と、降雨が重なった場合、思いがけなく川が増水することがあります。ご注意のほど、よろしく願いいたします。